



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します

f シェアする

Tweet

🗺️ サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 日本の魅力を再発見 柊（えい）出版社 高橋俊宏さん

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

日本の魅力を再発見



高橋俊宏（たかはし としひろ）

株式会社柊出版社 Discover Japan 統括編集長

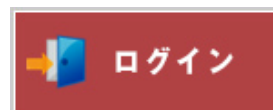
1973年岡山県生まれ。1999年柊出版社入社。建築やインテリア、デザイン系のムックや書籍など幅広いジャンルの出版を手掛ける。2009年に日本の魅力、再発見をテーマにした雑誌「Discover Japan」を創刊、編集長を務める。雑誌を通して地方活性の活動にも積極的に関わる。現在、高岡クラフトコンペティション審査員、やまなし大使、山梨県富士山世界遺産センター整備検討委員、いいね！ JAPANソーシャルアワード委員会メンバー、亘理町復興推進委員、場所文化フォーラム理事、JR東日本のものアドバイザリーボードメンバーを務める。

—これまでの取組について教えてください。

○地方の良さを東京の人にもわかってほしい

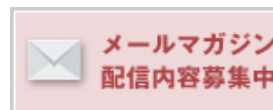
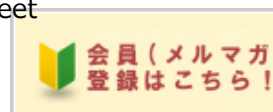
雑誌ディスカバー・ジャパンが創刊されてから7年になります。当初は不定期の刊行物として発行し、1年後に隔月となり、それから6年続いています。

私（高橋編集長）は岡山出身で、大学進学をきっかけに東京に出てきました。地方で仕事をするということにも魅力を感じていたのですが、本づくりの仕事がしたかったため、仕事の場所として東京しかありませんでした。



f シェアする

Tweet



🔍 サイト内検索

検索

🔍 もっと詳しく検索する

東京に住んでみて、故郷の岡山、瀬戸内海の豊かさに気づきました。
いろいろな情報が東京中心に流れていますが、地方が持つ様々な気候風土の集積にこそ日本の魅力があると思います。
そういうわけで、「地方の良さを東京の人にもわかってほしい」ということが創刊の思いでもありました。



―特集する内容（選別の基準・見せ方）について、どのように決めているのですか。

○人の思いがまち・まちなみを変えていく様子取材して、紹介

本誌の読者として想定している年齢層は30～40代が中心です。テーマが普遍的なので、50～60代の読者も多くなっています。意識が高く、知的好奇心が高い方、人に対して影響力のある方々に



読んでいただいています。

特集のテーマはお茶、名旅館、アートや食など多様です。30～40代の人が関心をもつようなテーマを選んでいきます。その背景には、若い世代の人たちが日本の文化の良さを見落としていると感じることがあげられます。海外で自分の国の文化について自信を持って語ることができるでしょうか。私たち日本人は、それほど得意ではないように思います。

特集記事をまとめる際、時代の気分を意識します。例えば、東京スカイツリーの特集をした時には、構造設計において参考にされたという法隆寺の五重塔など日本の伝統的な建造物について紹介しました。話題となっている最先端のものを取り上げながら、日本の文化とのつながりも紹介するといった構成にしています。

人を取り上げる時は、物事の裏側で活躍されている方々をフィーチャーするという構成にしています。例えば、くまモンを紹介するにあたって、仕掛け人・デザイナーなどのイ

中心市街地活性化協議会
支援センター

J-Net21
中小企業ビジネス支援サイト



ンタビュー記事を掲載するなど。



1 2 3 4

この記事をご覧になった方にはこちらが参考になります

ディスカバー・ジャパン

登録日 2014年9月04日（木曜）00:00

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）
主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します



Tweet



サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 日本の魅力を再発見 柵（えい）出版社－2ページ目

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

日本の魅力を再発見

ーこれまでに記事で、まちづくりの取組を紹介されたことはありますか。

○都市や地域づくりについての記事も多い

都市や都市の文化、地域づくりについての記事も多く、金沢21世紀美術館、武雄市の図書館などを紹介し、都市に住んで、それらの施設を利用している人たちの意識などをまとめています。

佐賀県武雄市の図書館の事例については、ユニークな運営形態の施設を実現させた市長のリーダーシップもさることながら、地元の人たちの満足度を考えてつくった結果が観光資源につながった点に注目すべきです。

兵庫県豊岡市については、城崎温泉の旅館の取組をとりあげています。城崎温泉では、旅館の宿泊客に、温泉街に点在する外湯を歩いて巡ってもらうしくみを取りいれていて、従来から旅館をはじめとする地域事業者は、共同体として深いつながりをもっていました。近年、旅館の旦那衆が世代交代の時期を迎えており、新しい取組を始めようという気運が高まっています。現在、志賀直哉の「城の崎にて」の現代版の作品の執筆を現在活躍する作家へ依頼するといったユニークな取組が進められています。



ログイン



会員（メルマガ）登録はこちら！



メールマガジン
配信内容募集中



マチイベ！
ー街のイベントー
掲載依頼募集中



サイト内検索

検索

もっと詳しく検索する



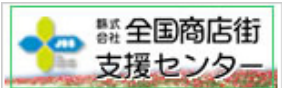
○創刊時より新潟県出雲崎町の地域づくりに関わる

雑誌の創刊時から、「イズモザキ通信」として連載で、出雲崎町の地域づくりの取組について紹介しています。

中越沖地震の後、地元の漁師が漁に出ると、いろんなかたちの黒い塊がごろごろと網に引っかかってきました。調べてみると5千万年前（縄文時代）の木だということがわかりました。

当時、私は、デザイン系の本をつくっていたことから、これらの木を使って、アートや工芸の作品が出来ないかと考えました。そこで、デザイナー、アーティストに来てもらって、作品をつくらせ、作品の売上の収益を震災復興のために活用するという企画を考え、ディスカバー・ジャパンの創刊号で、デザインコンペを実施しました。それから4年間、年に1回、デザインコンペを開催していました。

出雲崎町は人口4千5百人程度で、地域の観光ガイドにも半ページ程度しか紹介されないような町ですが、都会の生活者の視点でみていくと、住んでいる人たちが気づいていないような魅力が、



たくさんあります。

例えば、出雲崎からは夕日が大きく見えること、良寛の出生の地であること、魚介類が豊富な上、地元産の米はコシヒカリでとてもおいしいこと。

都会の人が出かけて行って、地元の人話を聞くことで、外の目線で、外から地元の人たちに対して、気付きを与えることができます。そして、地元の人たちが、自分の住んでいる所を再評価することにつながります。

雑誌でイズモザキ通信の連載を始めて、リアルに地域おこしに関っているという実感を持つようになりました。



[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します



Tweet



サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 日本の魅力を再発見 柵（えい）出版社－3ページ目

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

日本の魅力を再発見

ー今後の都市・地域のまちづくりについてどのようにお考えですか

○地域との多様な関わり方の中で事例をつくっていく

まちのリーダーの想い、センスがまちを作っていくと思います。また、その土地に根ざしているものを素材として使って、土地を解釈し、土地や人を理解した上でデザインがされていることが重要です。

特に、デザインのセンスは必要で、いいことをやっても美しく見せることは大切です。そのためには、一定のコストをかけることは必要で、どういうデザイナーやアーティストを連れてくれればよいか、について、私たちの持つノウハウや人脈を活用して、相談にのることもできます。

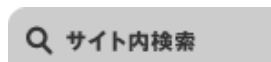
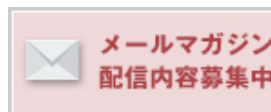
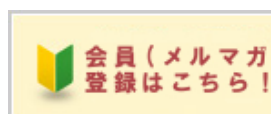
他にも、山梨県の富士山世界遺産センターの検討委員、JR東日本「のもの」のアドバイザーを務める、行政からの依頼で講演やコンペの審査員なども実施するなど、地域とはいろいろな形で関わりを持っています。

私たちは、誌面を通じて、日本が元気になることを目指していますが、本づくりではないところでも、事例をつくっていきたいと考えています。

○今後のライフスタイルのあり方ー地方には豊かな暮らしがあるー

それぞれの地方に、地域ならではのライフスタイルがあるはずです。例えば、海の近くではサーフィンしてから、スキー場が近くにあれば、朝いちでスキーをしてから会社へ行くなど、自然がすぐ近くにあるからこそ、豊かな暮らしがあると思います。地元の人たちは、その良さに気づいていないことが多いのではないのでしょうか。

今後、デュアルライフといった都市と地方に滞在するといったライフスタイルも珍しくなくなてくると思います。



もっと詳しく検索する

雑誌の特集で、シェア別荘をつくってみようという企画をしました。

好きな場所へ何度も通うことを考えると、快適な宿は値段が高いことが多いし、逆に快適性を犠牲にしてまで、安いところに泊まりたいわけでもありません。必要最小限の機能があって、落ち着くことができる場所を作りたいと考えました。箱根強羅にある旧保養所を買取ったクライアントさんとともに、誌上でデザインコンペを実施し、選ばれた案をもとにリノベーションするという取組をしました。



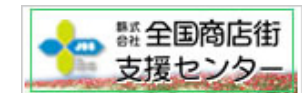
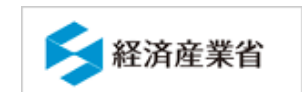
一地域の魅力を高めるために行政に期待することは何ですか。

○新しいものをつくることより、既存の魅力を磨くこと

倉敷には、デンマークにあるチボリ公園をモデルにした「チボリ公園」という施設がありました。

市街地の近くにゆったり散策を楽しむ空間がある、というコンセプトや北欧のライフスタイルには共感するのですが、施設の名称を「チボリ公園」にしてしまったことで、デンマークにある本物の公園を真似たものというイメージがついてしまい、人の心をつかむものにはできなかったように思います。

目からウロコ、ローカルの魅力の発信の仕方、この一冊に詰まっています！



行政が新しい取組を始めること、新しい施設を整備することもよいと思います。ただ、新しいものをつくることよりも、地味な作業ですが、自分たちの持っている魅力を再発見して磨いていくことが大切です。目標は土地の魅力を磨き上げて、住んでいる人が自慢できるようにすることです。

そのためには外の目が必要で、時にはクリエイターなどの専門家を起用して、質の高いものをつくっていくことも考えられます。



1 2 3 4

この記事をご覧になった方にはこちらが参考になります

ディスカバー・ジャパン

登録日 2014年9月04日（木曜）00:00

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）
主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.



まちづくり情報サイト

「街元気」は、まちをもっと元気にしようとまちづくりに頑張る人を応援します



Tweet

サイトマップ

イベント・メルマガ

研修・オープン会議

学習教材・統計

コラム・事例紹介

タウンプロデューサー

まちづくり掲示板

政策関連情報

このサイトについて

コラム・事例紹介

ホーム > コラム・事例紹介 > 街と、人と、生きていく。 マチビト > 日本の魅力を再発見 柵（えい）出版社－4ページ目

街と、人と、生きていく。 マチビト

まちづくりコラム

タウン誌事例集

マップ事例集

取組事例

地図から検索

日本の魅力を再発見

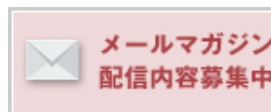
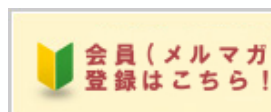
—今後やってみたいことを教えてください。

○誌面を超えた活動を展開

これまで、実際の店舗やショールームの企画や運営も手がけてきました。

期間限定で渋谷に金沢カフェをオープンし、加賀野菜を使った食事の提供、金沢の写真や工芸品の展示、和菓子や金箔貼小箱づくりのワークショップなどを実施しました。

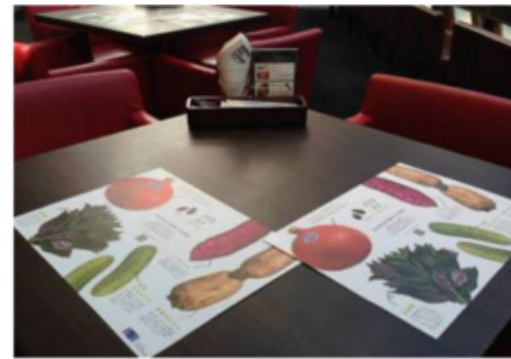
金沢カフェ



🔍 サイト内検索

検索

🔍 もっと詳しく検索する

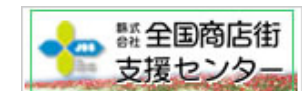
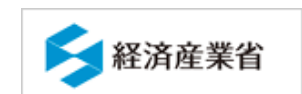


また、パリには店舗としてDiscover Japanをオープンしました。店舗には、展示スペースも設けており、伝統工芸品を中心に日本のよいものを紹介しています。

今後も誌面を越えて、活動を加速させていきたいと考えています。

ものづくりや（専門人材の）キャスティングにも関わっていききたいと考えています。

パリの店舗





【事務局コメント（取材後記）】

「海外の人に対して、自分の国の文化について自信をもって語ることができるか」
高橋さんの問いかけに筆者も十分に答えることができませんでした。
この問いかけは、日本の良さを海外に対して、だけでなく、地域の良さを外の人たちに対して知ってもらう際にも当てはまります。他人に説明できるようになるためには、まず、自分たちの「地域の良さ」を見つけること、そしてそれらが、他地域とどのように違うのか、どういう点で良いのかを理解しておく必要があります。そうは言っても、自分の生活習慣の一部となっているような事象を相対的にとらえることは難しいと思います。その時に必要となるのが、「外部の人の目線」です。

高橋さんは、雑誌づくりを通して、外部の人の目線から、地元の人に気づきを与える活動をされてきました。その活動は、雑誌で地域の情報を紹介するだけにとどまらず、地域の人たちと一緒にブランドづくりなどの取組をしかけていくところまで広がっています。

今回のインタビューでは、地域資源の見つけ方、活かし方について、また、外部の人として地域のまちづくり等にどのように関わるか、について貴重なお話をおうかがいすることができました。



Tweet

1 2 3 4

この記事をご覧になった方にはこちらが参考になります

ディスカバー・ジャパン

登録日 2014年9月04日（木曜）00:00

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

経済産業省（法人番号 4000012090001）

主催／経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局／株式会社 野村総合研究所

Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.